

4 「絆」の大切さを再認識する手帳のチカラ

7 モノすごい手帳 ブランド・カタログ20

01 能率手帳 02 クオバデイス 03 モレスキン
04 コクヨ×犬印×モノ・マガジン 05 レッツ 06 ブルックリン ミュージアム
07 ファイロファックス 08 エディット 09 アシュフォード 10 チアック
11 ムク 12 ニーモシネ 13 ほほ日手帳 14 ハイタイト
15 プレイオフ 16 カンミ堂 17 リヒトラブ 18 高橋書店
19 生産性出版 20 ディスカヴァー

モノすごい手帳拝見

22 お笑い芸人の場合 NON STYLE 石田明さん 38 国会議員の場合 衆議院議員 松岡広隆さん
52 イラストレーターの場合 むらたさきさん 68 おもちゃメーカー開発担当者の場合 バンダイ 高橋晋平さん
80 会社代表の場合 Japan Style 代表 熊切雄三さん

57 こだわり手帳アラカルト

58 イザというとき役に立つ**防災+手帳**
60 いろんな**企業&職業**のための手帳
62 眺めても書いても楽しい“**キャラ**”手帳
64 雨の日でもへっちゃらな**防水手帳**
66 こだわり派のボクは**ノート**という選択
70 機能がプラスされた**最新生徒手帳**事情
72 **スポーツ手帳**があれば、もうトレーナーなんて要らない！
74 能率手帳とのコラボによる**自衛隊手帳**！
76 古道具屋さんで見つけた**古手帳**の魅力！！
78 工夫次第の**こんなサイズ**はどうでしょう
82 キャッチーでチャーミングな♥**女子手帳**の力

83 モノすごい手帳物語 PART01~04

84 修羅場を知る男の手帳秘話**不肖・宮嶋の最強手帳**物語
86 アポロ13号の奇跡の軌跡がココにある！！
88 モノの力には絶対の自信を持つ 若き手帳職人は実は社長も兼務する超多忙人間！
90 下町パワー全開！！ 著名人の愛用者も多いツバメノートの魅力と想像力！
92 アプリソムリエがすすめる“手帳アプリ” モノすごいデジタルの手帳、いかがです？
94 紙と画面は意外と気が合う 手帳の未来形は、こんなカタチ？

能率手帳

ブランド
ストリーク
*001

「同じものをくたさい」——年が改まる季節になると、手帳売り場で指名買いの声がかかる。半世紀以上前からデザインはほとんど変わらない。変える必要がないし、変えてはいけない。ニッポンのビジネスマンはいつも能率手帳を片手に仕事をしてきた。能率手帳はすでに文具ではなく、時節を体感する風物に属している。

経済成長を支える元祖・時間活用ツール



大野 巖氏
日本能率協会の初代常務理事を務めていた大野氏が、生産性を高めるべく、時間目盛りの入ったデザインを考案した。「時間は資源」という考え方は、働く人すべてに通じるデザインコンセプトとして受け継がれている。

「24」前9時か25部課長会議 午後1時にM社企画部訪問
午後9時羽田空港へY社長見送り……しと。
いそがしいぞー!

「68」ポケットに秘密!
能率手帳
時間目盛り・アドレス別冊式 ¥250

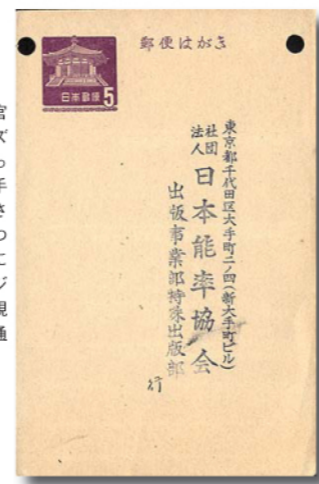
★同時発売★
能率手帳〈小型版〉……¥300
能率手帳ゴールド 黒革表紙・ペンシル付……¥580
能率手帳〈バインダー〉……¥500
セールスマン手帳……¥300
能率手帳補充ノート〈普及版〉¥200
能率手帳補充ノート〈小型版〉¥220
バインダー・68日記帳……¥250
バインダー補充用紙……¥190

JMA 日本能率協会
東京都港区芝公園2番地 協立ビル
電話 / 東京03-4-6211(代)

初代から採用されている 伝統の「レフト式」

左ページに一周間のダイアリー、右ページはフリーのメモスペース。レフト式のレイアウトも大野巖氏のアイデアだ。海外では見聞きのバーチカルデザインが主流だが、近年はレフト式への関心も高まっているとか。週休二日制が導入されるまでは日曜始まり。仕事用の手帳だから日曜日に書くことはないと思いきや、その週の目標やToDoの記録に使われることが多いそうだ。

←基本デザインやレイアウトは現在のモデルにも引き継がれている。アドレス帳も当時の手帳に必須の機能だった。



←能率手帳は日官製はがきのサイズで、現在も変わっていない。当時、手帳にははがきをはさみ、取引先にいつでも送れるようにしておくのがビジネススタイル。現在の「メール」に通じる要素だ。

↓デジタル時計もついて、当時価格で1万2800円。電子辞書や電子手帳(PDA)が生まれる前の高級ハイテクツールだった。

能率手帳に「デジタルパワー」がプラス。

ACTION ALZUM
DIARY

デジタル時代を先取り? 電卓付きハイテクモデル

1986年に発売された「ED」モデルは、なんとカバー一部分に電卓を内蔵し、スケジュールをアラームやランプで知らせる機能もついてきた。5分前の予鈴と本鈴で、会議などの予定を知らせてくれる。今で言うスマートフォンのアラーム機能に近い。

一週間のスケジュールを時間目盛りで量的に把握する。最近の言葉でいえば時間の「見える化」によって、スケジュールを客観的に把握し、時間を有効活用することで多忙な日々をこなしていく。

日本で初めて「時間目盛り」を入れた能率手帳。1949年に誕生し、当初は、社団法人日本能率協会の会員企業向けに配られていた。いわば半官製のビジネスツールだったのだ。その機能が高く評価されて1951年には法人向け販売が、1958年には一般向けにも販売が始まり、現在は市販だけでも全127種を擁する国内最大の手帳ブランドになっている。

レフト式の週間レイアウトと時間目盛りが入った基本デザインは誕生当時から、ほとんど変わっていない。時代の変化に合わせてマイナーチェンジを重ねてきたものの、その姿を大きく変えなかつたのも一つの理由がある。ロイヤルユーザーの存在だ。何十年も同じタイプの能率手帳を使い続けるユーザーにとって、能率手帳のデザインは完成された機能美であり、仕事と向き合う様式美の一部も担っている。

世相の変化に合わせて 働く女性向けの手帳が誕生

1986年に男女雇用機会均等法が施行され、女性の社会進出が明確に進み始めた。同年、能率手帳にも働く女性を意識した「WIC MINI」が誕生している。表紙は赤・紺の2タイプで、ポシェットにも入れられる薄くてスリムなデザインを採用。また1991年には現在もある「ハイジウム」シリーズの初代が発売された。

ワンポイントのデザインが入っているもの、色もデザインもおとなしい。女性向けといっても現在のようなカラーバリエーションはなかった。

WIC-MINI

PiGEM ONE WEEK (1週間タイプ)
PiGEM Excellent
PiGEM

PiGEM WEEK (1週間タイプ)
PiGEM Excellent
PiGEM

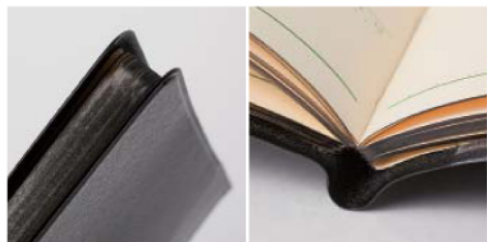
PiGEM WEEK (1週間タイプ)
PiGEM Excellent
PiGEM

外回りの必需品に! セールスマン手帳

ケータイはおろかパソコンもない時代、販売や入金金の管理はすべて手帳で行われていた。ダイアリーだけでなくデータ管理に使えるページを設けた「セールスマン」手帳はそんな時代の多機能モバイルツールだった。(写真は1961年のパンフレット)

↓顧客の名簿や販売データの管理、セールスマンなら知っておきたい用語解説や金言集まで収録。営業マンのバイブルだった。

セールスマン手帳



手帳の背には百科事典などに使われている補強素材を貼り、1年間耐える強度を保っている。また小口(手帳の断面)は表紙と同色で着色。瑪瑙という石で丹念に磨き、汚れ防止を施している。角は丸くカットして折れにくくつねに美しく保つ工夫がなされている。

能率手帳

● NORITSU TECO

1949年に誕生したビジネス手帳のバイオニア。目に優しいクリーム色の紙は、特選きの専用紙。数千回の開閉に耐える堅牢な製本。汚れ防止のために瑪瑙の石で磨かれた小口など、細部にまで職人技が光る。

能率手帳



8時から24時まで30分刻みの目盛りが入る。時間が足りない場合は右ページの上下の点を活用できる。

当年から翌年3月までの月間予定表がついており、年間を通してのプランニングが可能。



● 能率手帳1普及版(黒)

価格：966円

月間、週間のスケジュールのほかメモや方眼、巻末資料などコンパクトながら充実した構成。表紙が赤、紺のバリエーションもある。写真右側の別冊のアドレス&メモは同時製本という特別な技術によって本体と同サイズに仕上げ、見た目の美しさも演出している。

©日本能率協会マネジメントセンター
☎03-6253-8010
shop.jmam.co.jp

ニッポンを支える元祖・ビジネス手帳

日本で初めて時間目盛りを入れた能率手帳は、時間を経緯源ととらえ、時間管理の思想を凝縮つけた。社会人になったら手帳を持つという習慣は、自分で時間を効率よく管理するビジネスパーソンの基本スキルを徹している。取引先とのアポイントメントはもちろん「後やそ」でなく「何時から何時までやる」と「目録管理」できるのが「アキマ」ビジネスパーソンであり、勤勉な日本人だ。

モページ。シンプルすぎると思っかもしれないが、用途を限定しすぎないことも業種を問わず愛用されるポイント。また、「年を通して使ってみれば「飽きない」「使い続けられる」ことがデザイン上の機能だとわかるだろう。手帳の背には百科事典などにも使われている補強素材を貼り、1年間耐える強度を保っている。中ページを何度大きく開き、書きこむことで紙がヨレても、全体のフォルムは崩れない。小口もツライチのまま。扱

いで気を使う必要がないタフなやつなのだ。リピーターが多いのもなすける。自分に合う手帳を探していて、もし能率手帳を使ったことがないなら、お試しても能率手帳デビューをおすすめする。ド定番を知ること、自分が手帳にどんな機能や質を求めているかわかるだろう。そうして見出した理想の手帳を考えていくと……能率手帳シリーズのどれかに行き着く可能性も高い。これもまた事実。



モノすごい
手帳カタログ 01

とっておきの
メーカーの人が教えてくれる **3大** ポイントはココ!

- ① 右ページのドットを活用すると、時間目盛りが24時間になる!
- ② 月の初めのページには、ビジネス文書に役立つ時候の挨拶の例!
- ③ 巻末の「能率手帳の上手な使い方」には上級者向けの活用術アリ!

イザというとき役に立つ 防災+手帳

「天災は忘れられた頃にやってくる」。随筆家、寺田寅彦のあまりにも有名な格言である。この手帳の3月11日のページには、この言葉を深く噛み締めたとうえで、「人災は」「やってくる」という未完の新しい格言が記されている。空白部分は手帳を使う人それぞれが自らの言葉で埋め、震災の記憶を未来に繋げ、いざという時に備える意志をつねに持ち続けることこそが最も確かな備えとなるはず、ということ伝えるためだ。この手帳の作り手は福島市の日進堂印刷所。被災地での実体験を通して得た知識と情報がポケットサイズにぎゅっと詰まっている。1週間1ページを基本とした実用的な手帳機能の他、3・11の実体験をまとめた情報ページ、充実した緊急時の連絡先等の書き込み欄、被災時に便利な複写式メモ、原発事故に学ぶ放射能対策なども掲載されている。11だけでなく、今も広がる災害の経験を糧とし、知恵として生かしていかなければならない、という気持ちになる防災啓発手帳だ。



毎日日替わりで防災豆知識を掲載。その内容は過去の地震のデータから「ラジオと懐中電灯はワンセットにしておく」「折り紙はメモや伝言の他、避難所で気を紛らわす効果もある」などリアルなもののばかり。



震災後、福島で生まれた防災手帳

東日本大震災の被災地、福島県の印刷会社がつくった防災手帳。被災地ならではの防災・減災に役立つ具体策を一つでも多くの方に伝えたい、という気持ちが詰まった一冊。その想いは本体を飛び出してカバーの裏側まで。価格:1200円
 ◎日進堂印刷所 ☎024-594-2211
<http://www.nissindo.co.jp/bousaitecho/>

こんなものもあります!

信頼され続ける防火防災手帳の定番

消火器・AED等の使い方、応急手当、非常時持ち出しリストなど40年以上の実績から作られた防災コンテンツを収録。消防職員や企業の防火防災関係者必携の1冊。
 ◎日宣テクノ・コムズ 企画部 ☎03-3357-0501
<http://www.nissen-yotsuya.co.jp/bouka/>



Editor & Publisher

今井今朝春
Kesaharu Imai

Cover Design

若山トシオ (フェイヴァリット・グラフィックス)
Toshio Wakayama (favorite graphics)

Design

フェイヴァリット・グラフィックス
favorite graphics
水野 拓 (ベース)
Taku Mizuno

Editor

大谷 暁
Satoru Otani
宮崎晋之介
Shinnosuke Miyazaki
小川太市
Taichi Ogawa

Staff Photographer

堀 長則
Naganori Tsutsumi
熊谷義久
Yoshihisa Kumagai
油科康司
Yasuji Yushina
鶴田智昭
Tomoaki Tsuruda
青木健格
Takenori Aoki
宮坂政邦
Masakuni Miyasaka

Advertising Director

坪井一雄
Kazuo Tsuboi

Advertising Manager

木内克佳
Katsuyoshi Kiuchi

荒川幸市

Kouichi Arakawa

Production Director

小川俊介
Shunsuke Ogawa

Circulation Manager

笹川裕史
Hiroshi Sasagawa

Print

Dai Nippon Printing Co., Ltd.

DTP

Base

Correspondents, Washington, D.C. Bureau

(Pictorial Press International)

Norman T. Hatch

Mikako Burks

ワールドフォトプレス ホームページ

<http://www.monomagazine.com>



「モノすごい長財布」も
好評発売中!

WORLD **M**OOK

ワールド・ムック908 (通巻908号)

平成24年3月5日発行

mono **モノ**

モノすごい手帳

編集・発行人 ● 今井今朝春

発行所 ● 株式会社ワールドフォトプレス

〒164-8551 東京都中野区中野3-39-2

TEL: 03(5385)5666 [編集部]

03(5385)5701 [販売部]

03(5385)1350 [広告営業部]

FAX: 03(5385)5617 [編集部]

03(5385)5703 [販売部]

03(5385)1348 [広告営業部]

印刷所 ● 大日本印刷株式会社

© WORLD PHOTO PRESS 2012

造本には十分注意しておりますが、万一、落丁・乱丁などの不良品がございましたら販売部までにお送りください。送料弊社負担にてお取り換えいたします。本誌掲載記事の無断複製転写を禁じます。

弊社出版物のお申し込みはインターネットをご利用いただけます。http://www.monomagazine.com

●本誌に掲載されている商品情報は平成23年12月20日現在の調べによるものです。品切の場合はご容赦ください。また文中の価格はすべて消費税込みの総額表示です。